

## 4 サスペンション & アクスル

デフアレンシャル	4-2
変更概要	4-2
4リンク車デフアレンシャル	4-2
準備品	4-2
車上交換	4-4
ドライブ ピニオン オイル シール交換	4-4
デフアレンシャル キャリヤ ASSY	4-7
脱着構成図	4-7
分解構成図	4-8
断面図	4-9
分解前点検	4-9
分解	4-10
構成部品の点検	4-13
組み付け	4-14

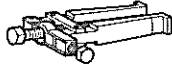
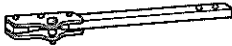
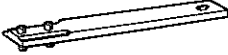


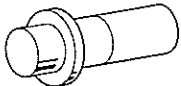
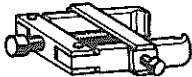

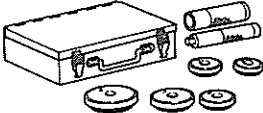
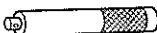
## デイフアレンシヤル 変更概要



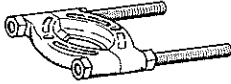
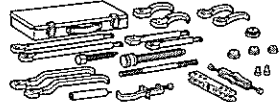


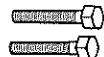
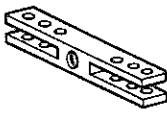
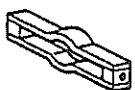
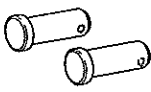

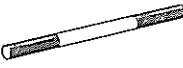
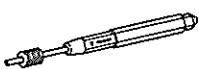
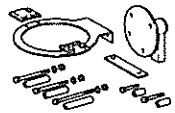
トヨタ マークII ワゴンのマイナ チエンジに伴い、トヨタ マークII・トヨタ チエイサー・トヨタ クレスタ修理書（品番62086 昭和59年8月発行）の内容に以下の項目を追加します。

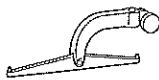
1 7.5インチ デイフアレンシヤルの修理要領

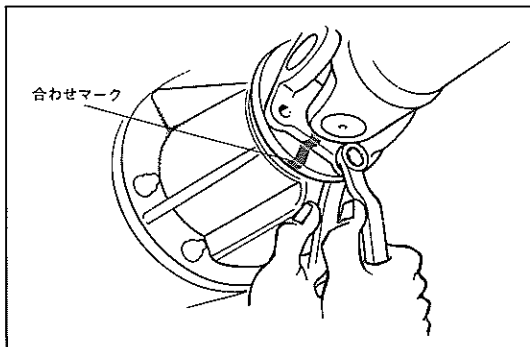
### 4 リンク車デイフアレンシヤル

#### 準備品

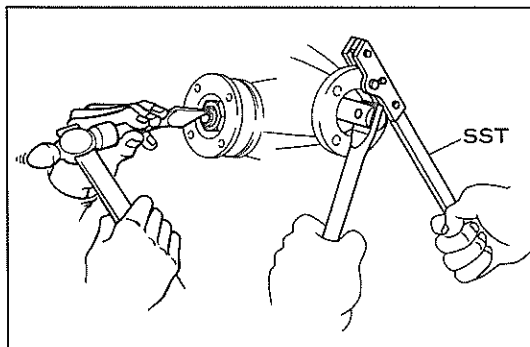
S S T		09308-10010 プラー、オイル シール	ドライブ ピニオン オイル シール取りはずし用
		09330-00021 ツール、コンパニオン フランジ ホールディング	コンパニオン フランジ保持用
		09504-00011 レンチ、デイフアレンシヤル サイド ベアリング アジャステイング ナット	サイド ベアリング アジャステイング ナット調整用
		09506-30012 リプレーサ、デイフアレンシヤル ドライブ ピニオン リヤ ベアリング コーン	ドライブ ピニオン フロント ベアリング取り付け用
		09520-00031 プラー、リヤ アクスル シャフト	リヤ アクスル シャフト脱着用
		09554-30011 リプレーサ、デイフアレンシヤル オイル シール	ドライブ ピニオン オイル シール取り付け用
		09556-22010 リムーバ、ドライブ ピニオン フロント ベアリング	テーパード ローラ ベアリング (フロント ベアリング) 取りはずし用
		09557-22022 リムーバ アンド リプレーサ コンパニオン フランジ	コンパニオン フランジ脱着用
		09608-30012 ツール セット、フロント ハブ アンド ドライブ ピニオン ベアリング	
		09608-04020 ハンドル	フロントおよびリヤ ベアリング アウタ レース取り付け用

S S T		09608-04100	リプレーサ、ドライブ ピニオン フロント ベアリング カップ	フロント ベアリング アウタ レース取り付け用
		09608-04110	リプレーサ、ドライブ ピニオン リヤ ベアリング カップ	リヤ ベアリング アウタ レース取り付け用
		09950-00020	リムーバ、ベアリング	ドライブ ピニオン リヤ ベアリング取りはずし用
		09950-20017	プラー、ユニバーサル	
		09952-20010	スクリュ	
		09953-20010	クロウ、B	
		09954-20011	スクリュ、アジャスト	
		09955-20012	プロバ	
		09956-20011	ピース、タイテイング	
		09957-20010	ピン	
	09958-30010	ディスク C、アタツチング		
	09959-20010	ハンドル		
工 具		09031-00040	ピン ポンチ	ピニオン シャフト ピン脱着用
		09090-05001	デифアレンシヤル リペア スタンド	デифアレンシヤル キヤリヤ分解および組み付け用

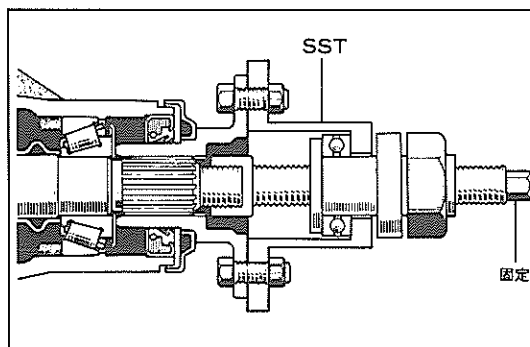
工 具		綱バンザイ 扱い XY-1	ダイヤル ゲージ レバー式測 定子	コンパニオン フランジ振れ点検用 サイド ギヤ シャフト振れ点検用
	ソケットレンチ 30mm			ドライブ ピニオン ナット脱着用
計 器	ダイヤル ゲージ			各部点検用
	トルク レンチ (0~30kg・cm)			プレロード測定用
	トルク レンチ (500~2800kg・cm)			ドライブ ピニオン ナット締め付け用
油 脂 その他	キャツスル ハイポイド ギヤ オイル S			リヤ アクスルハウジング内への注入用
	光明丹			歯当たり点検用
	オイル ヒータ			リング ギヤ加熱用



B4055



B4056 B4057



B4058

## 車上交換

### ドライブ ピニオン オイル シール交換

#### 1 プロペラ シャフト切り離し

- (1) プロペラ シャフトのフランジ ヨークとコンパニオン フランジに合わせマークを付ける。
- (2) フランジ部取り付けボルトとナットをはずし、プロペラ シャフトを切り離す。

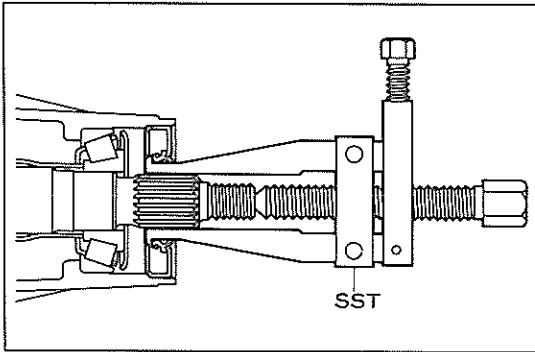
#### 2 コンパニオン フランジ取りはずし

- (1) タガネを使用して、ナットのかしめを解く。
- (2) SSTを使用してフランジを固定し、ナットおよびプレート ワッシヤを取りはずす。

S S T 09330-00021

- (3) SSTを使用して、コンパニオン フランジを取りはずす。

S S T 09557-22022



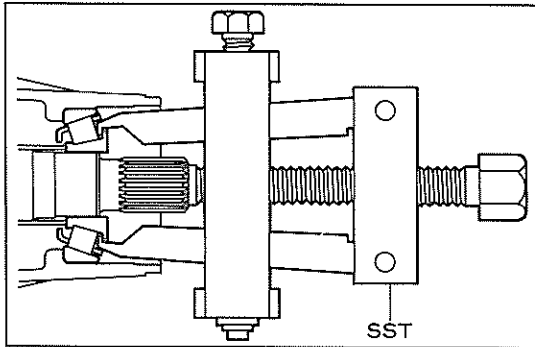
K6449

3 オイル シール取りはずし

(1) SSTを使用して、オイル シールを取りはずす。

S S T 09308-10010

4 ドライブ ピニオン オイル スリング取りはずし



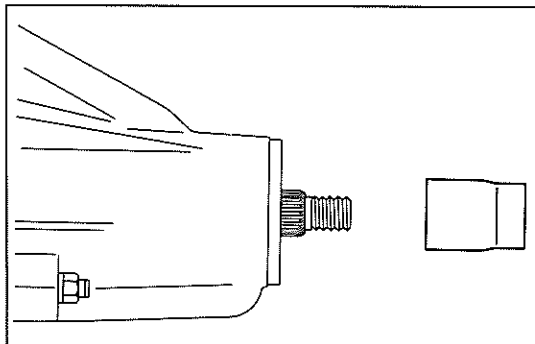
K6450

5 フロント ベアリング取りはずし

(1) SSTを使用して、フロント ベアリングを取りはずす。

S S T 09556-22010

6 ドライブ ピニオン ベアリング スペーサ取りはずし



K6451

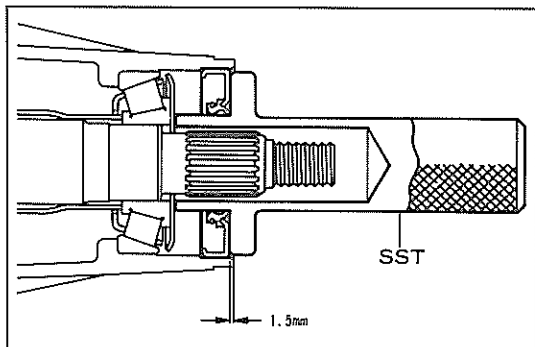
7 ドライブ ピニオン ベアリング スペーサ取り付け

(1) ドライブ ピニオンに新品のスペーサを取り付ける。

**注意** 内径の大きい方をリヤ側へ向ける。

8 フロント ベアリング取り付け

9 ドライブ ピニオン オイル スリング取り付け



K6452

10 オイル シール取り付け

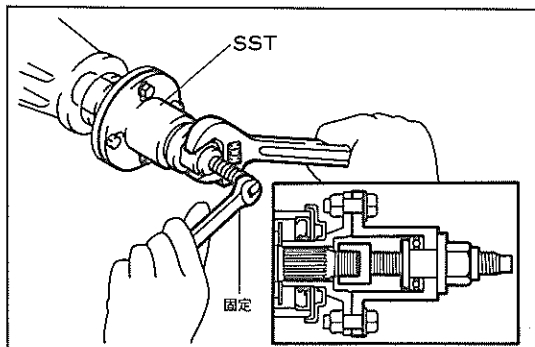
(1) オイル シール リップ部にキヤツスル MP グリース No. 2 を塗布する。

(2) SSTを使用して、新品のオイル シールを打ち込む。

S S T 09554-30011

基準値 オイル シール打ち込み量 (キヤリヤ端面より)

1.5mm

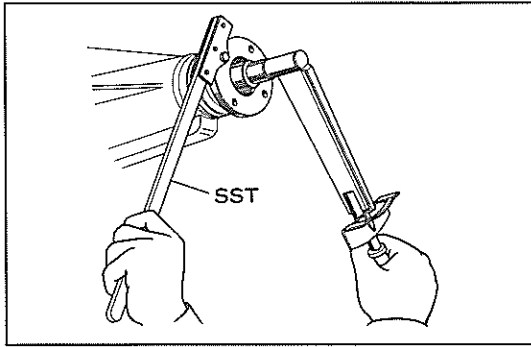


D3750

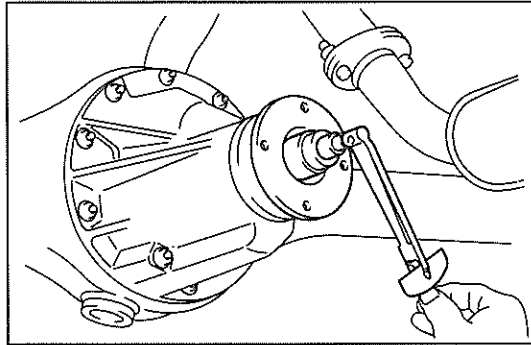
11 コンパニオン フランジ取り付け

(1) SSTを使用して、コンパニオン フランジを取り付ける。

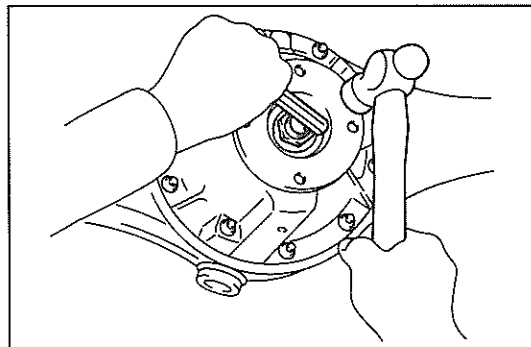
S S T 09557-22022



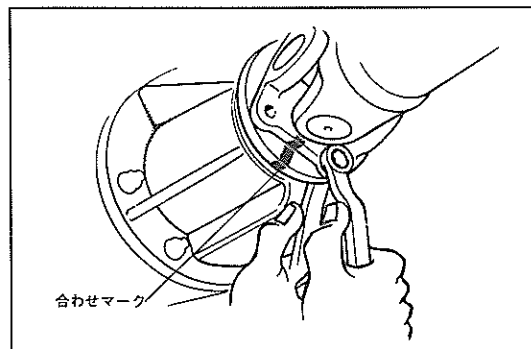
M3430



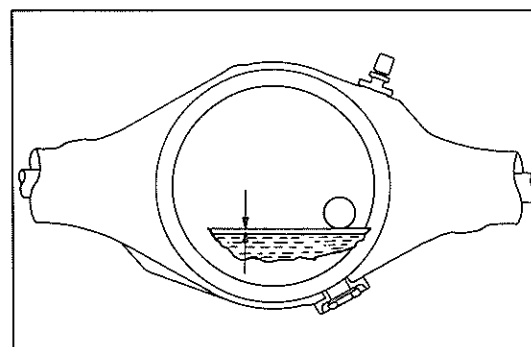
K6453



K6454



B4055



B4060

(2) プレート ワッシヤを取り付ける。

(3) 新品のナットのねじ部にギヤ オイルを塗布し、SSTを使用し  
てフランジを固定し、ナットを締め付ける。

S S T 09330-00021

T=1100~2400kg・cm

## 12 ドライブ ピニオン プレロード点検

(1) ドライブ ピニオンとリング ギヤのバックラツシュの範囲内  
で起動トルクを測定する。

基準値 6~10kg・cm

## 13 ナットかしめ

(1) タガネを使用して、ナットをかしめる。

## 14 プロペラ シャフト接続

(1) デイフアレンシヤルのコンパニオン フランジのマークに合わ  
せてプロペラ シャフトを取り付ける。

T=380kg・cm

## 15 デイフアレンシヤル オイル量点検

基準値 フィラ下面 +0 mm

-5 mm

フィラ プラグ締め付けトルク T=500kg・cm

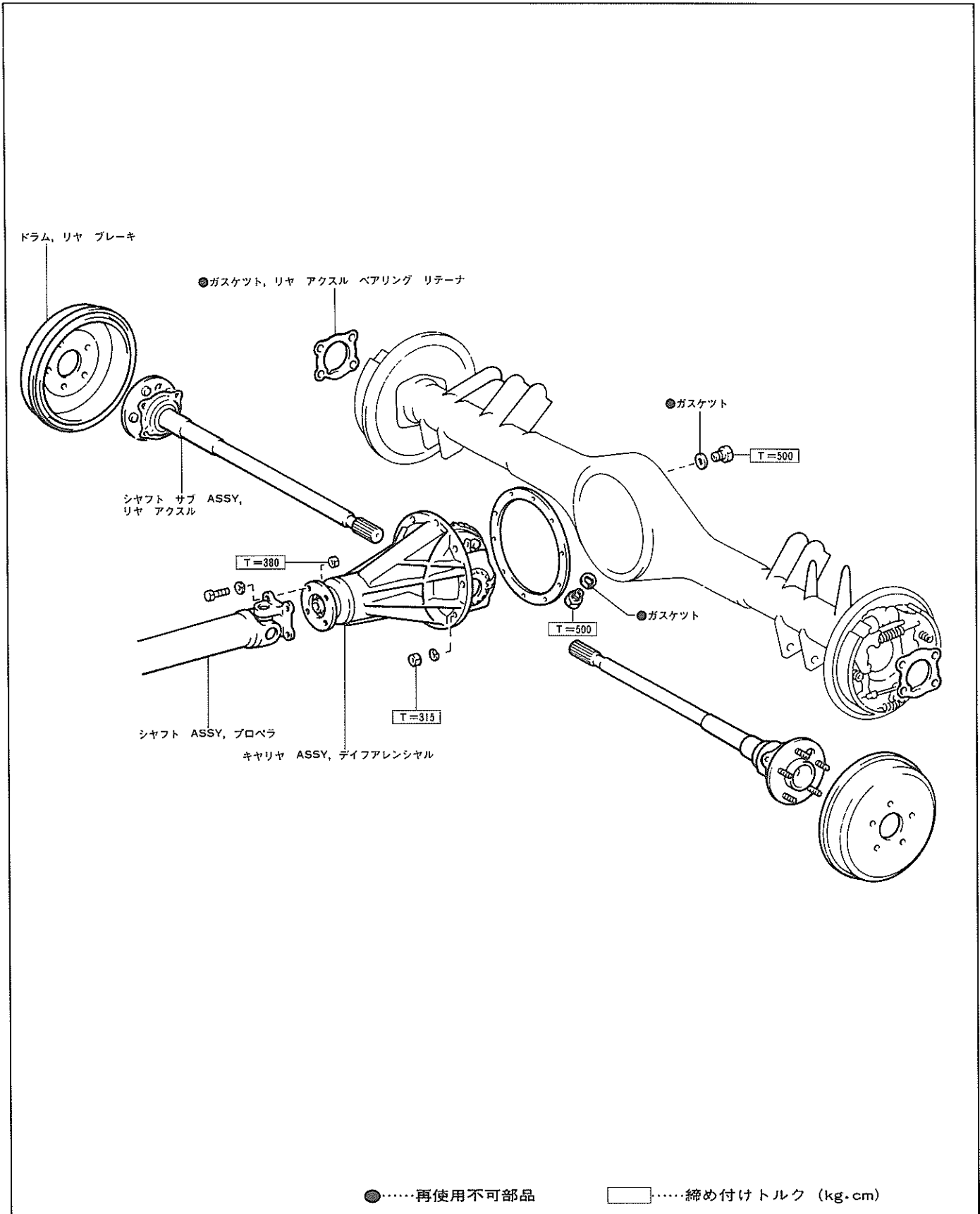
〈参考〉 使用オイルと油量

キャツスル ハイポイド ギヤ オイル S全油量

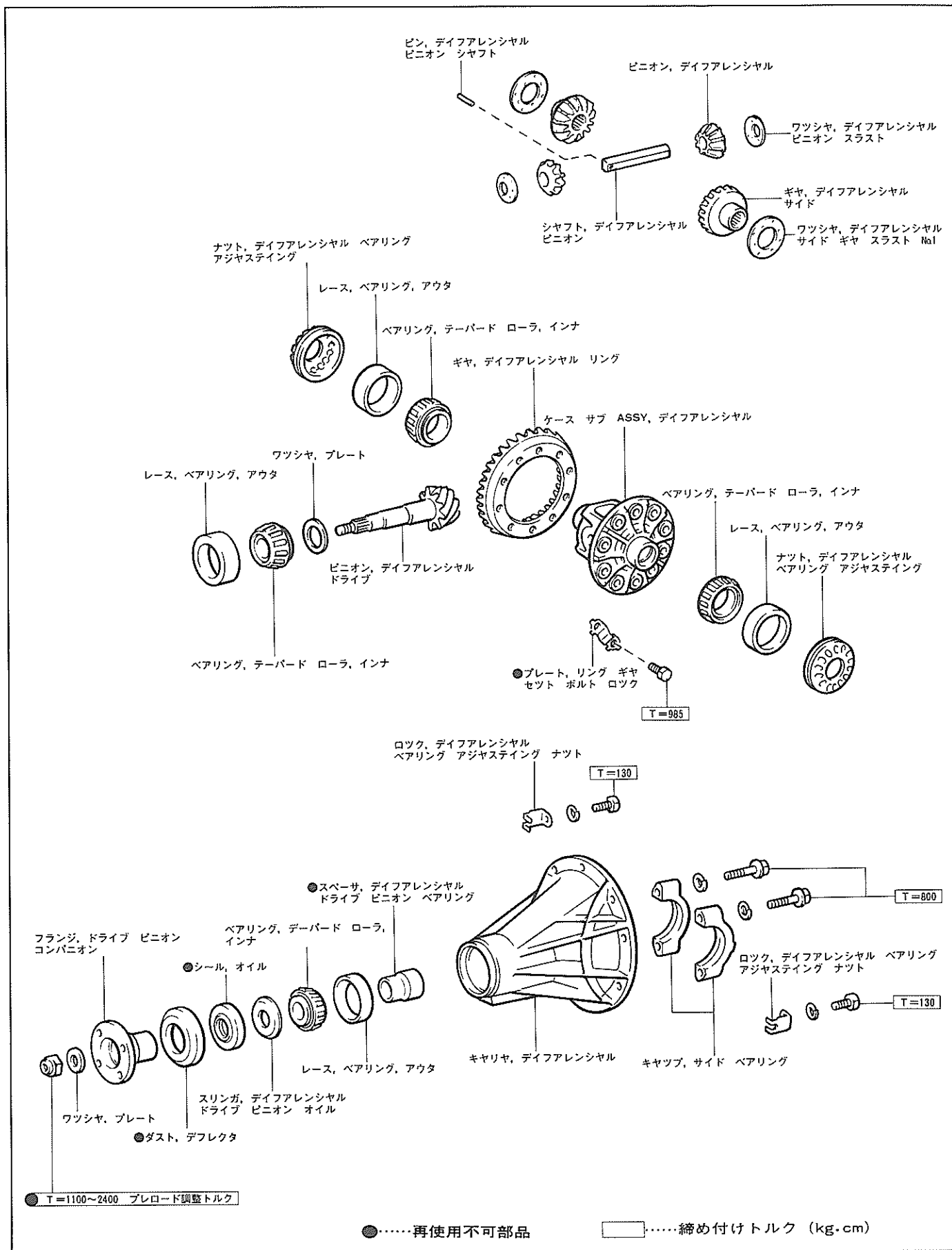
全油量 1.5ℓ

# デифアレンシヤル キヤリヤ ASSY

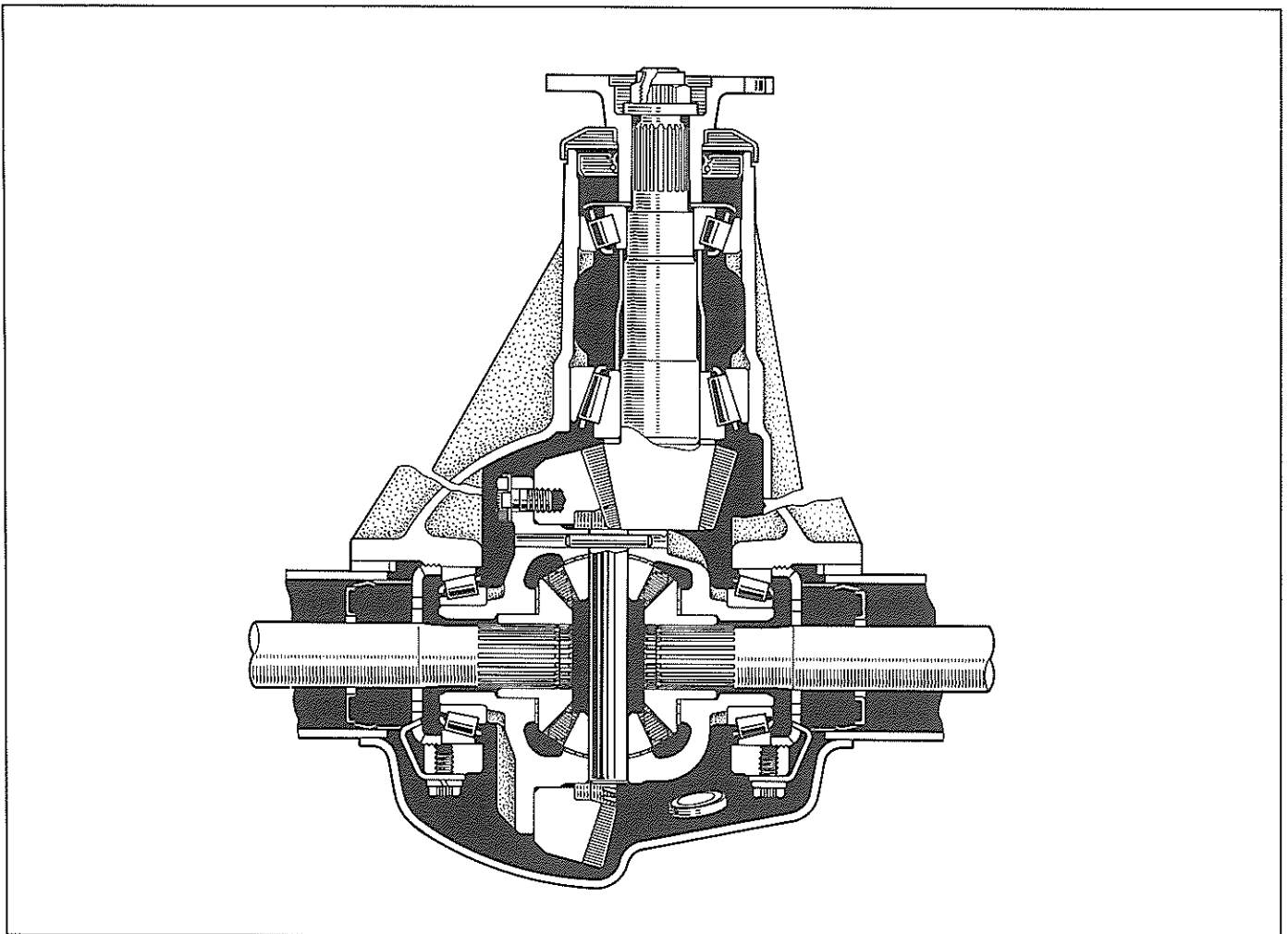
## 脱着構成図



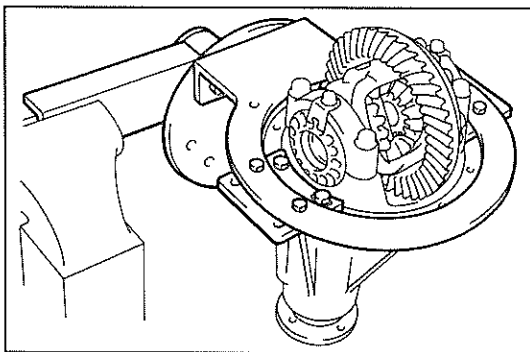
分解構成図



## 断面図



K1968



K6457

## デイフアレンシャル キャリヤ ASSY分解前点検

〈参考〉 3～9の分解前点検は不具合のあるものを分解する場合、必ず点検すること。

## 1 デイフアレンシャル キャリヤ ASSY固定

- (1) デイフアレンシャル キャリヤ ASSYをデイフアレンシャル リベア スタンドに固定する。

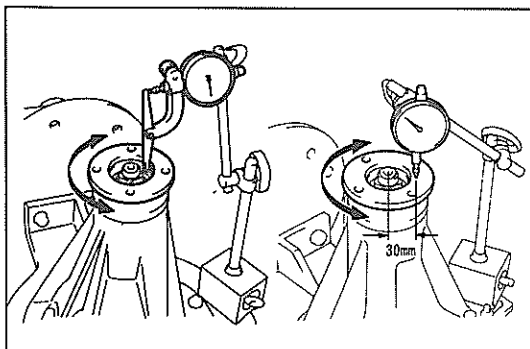
## 2 コンパニオン フランジの振れ点検

- (1) ダイヤル ゲージをコンパニオン フランジの内周面に直角に取り付け、コンパニオン フランジの縦振れを測定する。

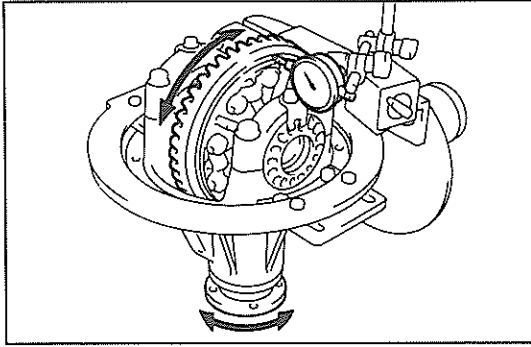
限度 0.10mm

- (2) ダイヤル ゲージをコンパニオン フランジの中心から外側へ30mmの位置へフランジ面と直角に取り付け、コンパニオン フランジの横振れを測定する。

限度 0.10mm



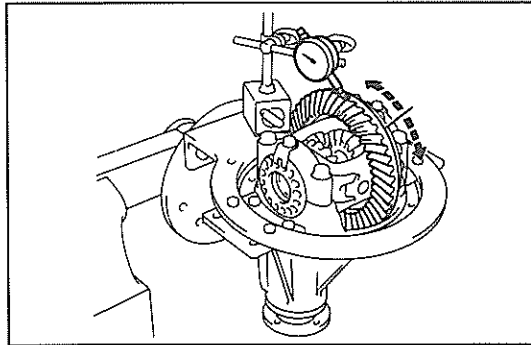
K6458 K6909



K6459

### 3 リング ギヤ振れ点検

- (1) リング ギヤの背面の振れをダイヤル ゲージで点検する。  
限度 0.07mm



K6460

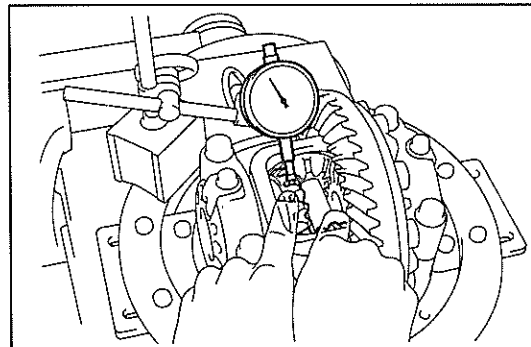
### 4 リング ギヤのバックラツシユ点検

- (1) ダイヤル ゲージをリング ギヤの歯面先端に直角に当てドライブ ピニオンのフランジを固定し、リング ギヤを動かして測定する。

基準値 0.13~0.18mm

**注意** リング ギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

### 5 リング ギヤとドライブ ピニオンの歯当たり点検 (P4-19参照)

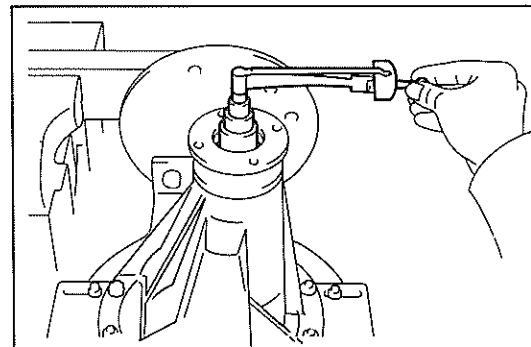


K1585

### 6 サイド ギヤのバックラツシユ点検

- (1) ダイヤル ゲージをサイド ギヤの歯面先端に直角に当て、ピニオンをデイファレンシャル ケースの方へ固定しバックラツシユを測定する。

基準値 0.05~0.20mm



K6461

### 7 ドライブ ピニオン プレロード測定

- (1) トルク レンチを使用して、ドライブ ピニオンとリング ギヤのバックラツシユの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値 6~10kg・cm

### 8 総合プレロード点検

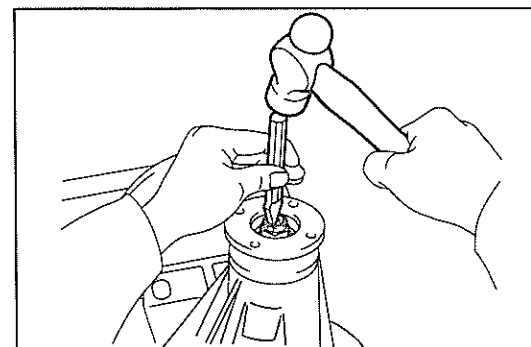
- (1) トルク レンチを使用して、ドライブ ピニオンとリング ギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値 総合プレロード=ドライブ ピニオン プレロード  
+ 4~6 kg・cm

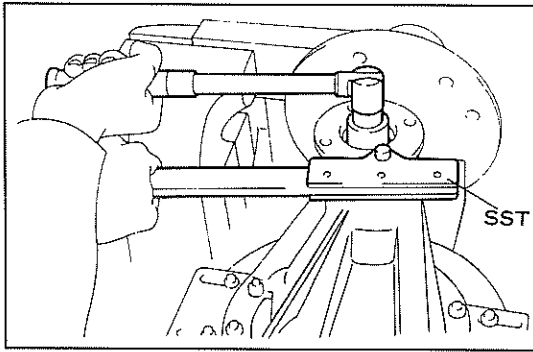
## デイファレンシャル キャリヤ ASSY分解

### 1 コンパニオン フランジ取りはずし

- (1) タガネを使用して、ナットのかしめを解く。



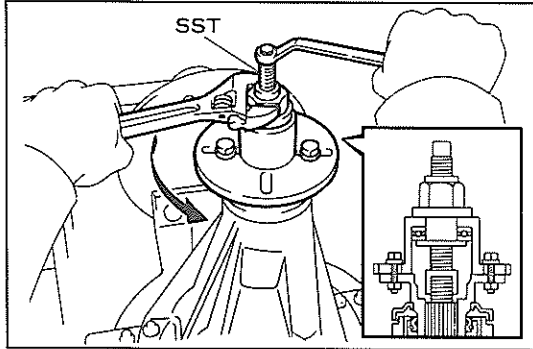
K6462



K6463

- (2) SSTを使用してフランジを固定し、ナットおよびプレート ワッシャを取りはずす。

S S T 09330-00021

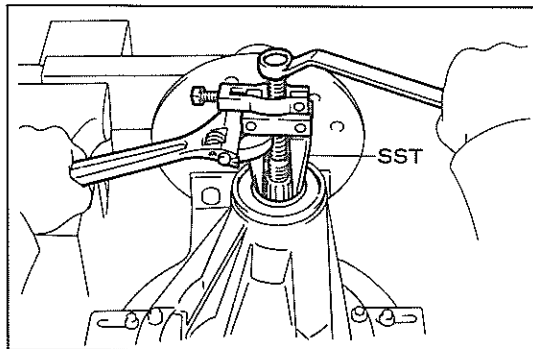


K6464

- (3) SSTを使用して、コンパニオン フランジを取りはずす。

S S T 09557-22022

〈参考〉 SSTのボルトはNo.1を使用する。



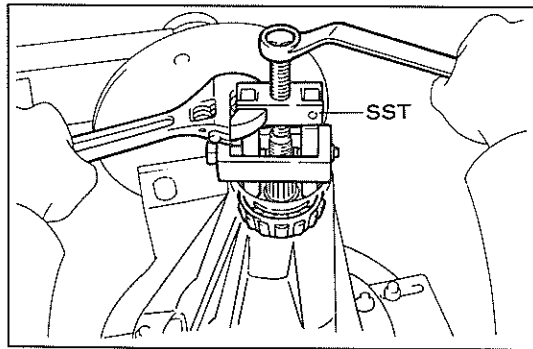
K6465

2 オイル シール取りはずし

- (1) SSTを使用して、オイル シールをデイフアレンシヤル キャリヤから取りはずす。

S S T 09308-10010

3 ドライブ ピニオン オイル スリング取りはずし



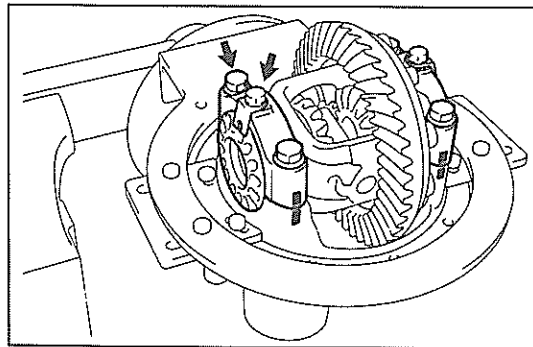
K6466

4 フロント ベアリングおよびベアリング スペーサ取りはずし

- (1) SSTを使用して、フロント ベアリングをデイフアレンシヤル キャリヤから取りはずす。

S S T 09556-22010

- (2) ベアリング スペーサを取りはずす。

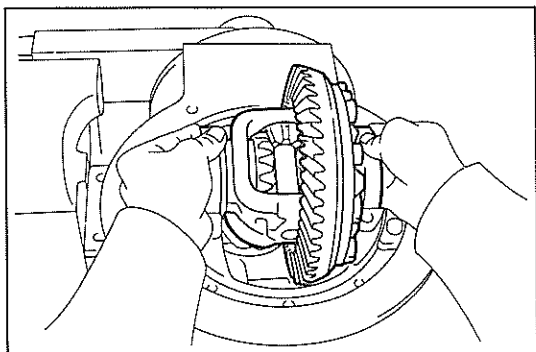


K6467

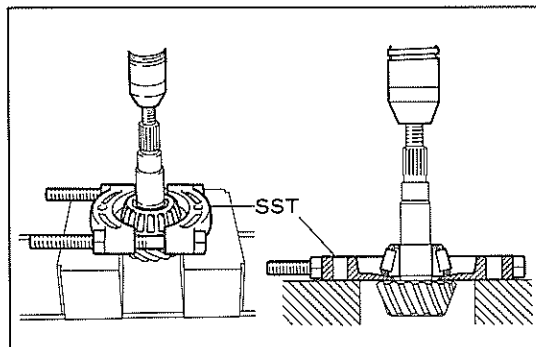
5 デイフアレンシヤル ケース ASSY取りはずし

- (1) ベアリング キャップとデイフアレンシヤル キャリヤに合わせマークを付ける。  
 (2) ボルト2本を取りはずし、アジャスティング ナット ロック 2個を取りはずす。  
 (3) ボルト4本をはずし、ベアリング キャップおよびアジャスティング ナット 2個を取りはずす。

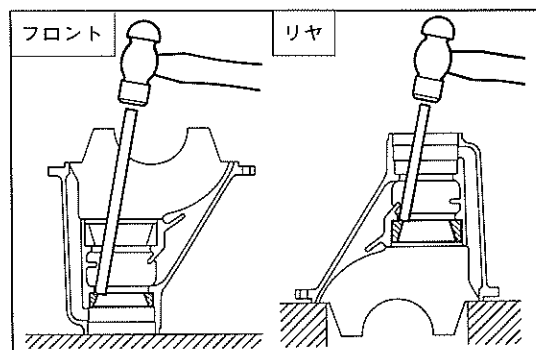
**注意** ベアリング キャップとキャリヤは一体で加工されているため組み合わせを変えない。



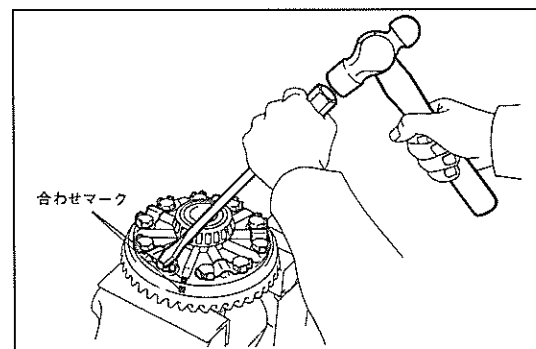
K1595



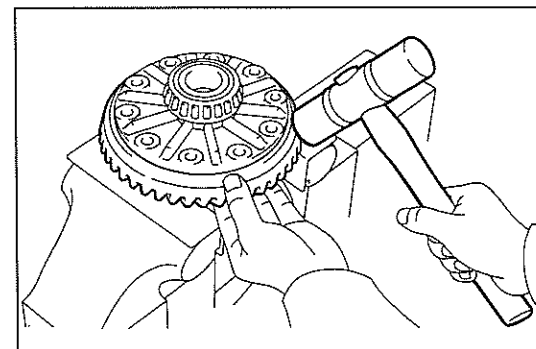
K1671



K1872 K1873



K1874



K1876

(4) デイファレンシャル ケースをベアリング アウタ レースとともに取りはずす。

**注意** ベアリング アウタ レースに左右（背面側、歯面側）の識別マークを付けるかまたは別々に整理する。

#### 6 ドライブ ピニオン取りはずし

(1) デイファレンシャル キヤリヤからドライブ ピニオンを取りはずす。

#### 7 テーパード ローラ ベアリング インナ（リヤ用）

(1) SSTとプレスを使用して、ドライブ ピニオンからリヤ ベアリングを取りはずす。

S S T 09950-00020

(2) プレート ワッシヤを取りはずす。

#### 8 フロントおよびリヤ ベアリング アウタ レース取りはずし

(1) プラスパーを使用して、ベアリング アウタ レースを軽く均等にたたきながら打ち抜く。

#### 9 リング ギヤ取りはずし

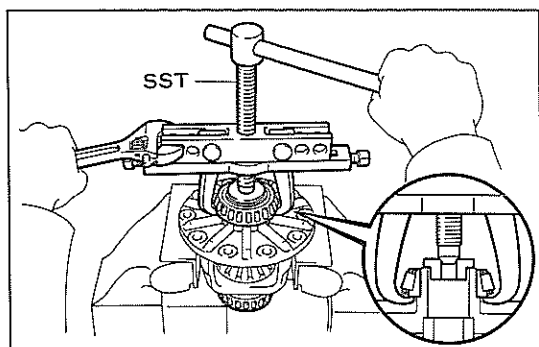
(1) デイファレンシャル ケースとリング ギヤに合わせマークを付ける。

(2) ⊖ドライバを使用して、ロック プレートのかしめを解く。

(3) ボルト10本およびロック プレート5個を取りはずす。

(4) プラスティック ハンマを使用して、リング ギヤ外周を軽くたたいて取りはずす。

(5) デイファレンシャル ケース ASSYの振れを点検する。(P4-13参照)



K1877

#### 10 テーパー ロール ベアリング インナ (サイド ベアリング) 取りはずし

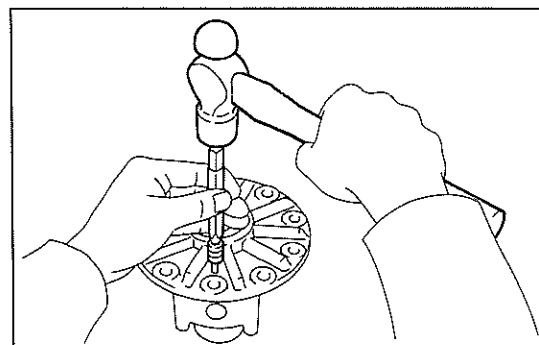
- (1) デフアレンシャル ケースの切り欠き部よりベアリングのインナ レースにSSTのツメをかける。
- (2) SSTを使用して、デフアレンシャル ケースからテーパー ロール ベアリング 2個を取りはずす。

S S T	09952-20010	09953-20010	09954-20011
	09955-20012	09956-20011	09957-20010
	09958-30010	09959-20010	

〈参考〉 サイド ベアリング脱着は、リング ギヤを取り付けた状態でできるので、サイド ベアリング交換以外は取りはずす必要はない。

#### 11 デフアレンシャル ケース分解

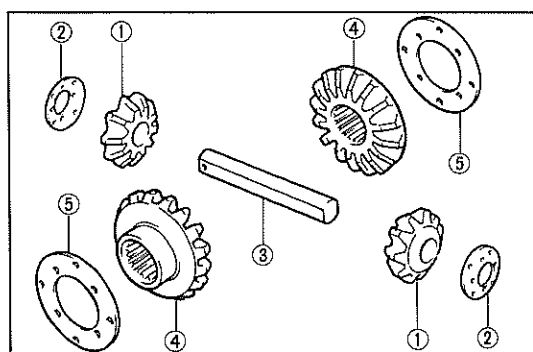
- (1) ピン ボンチを使用して、ストレート ピンを打ち抜く。



K1878

- (2) デフアレンシャル ケースから次の部品を取りはずす。

- ① デフアレンシャル ピニオン 2個
- ② ピニオン スラスト ワッシャ 2枚
- ③ デフアレンシャル ピニオン シャフト
- ④ デフアレンシャル サイド ギヤ 2個
- ⑤ サイド ギヤ スラスト ワッシャ 2枚



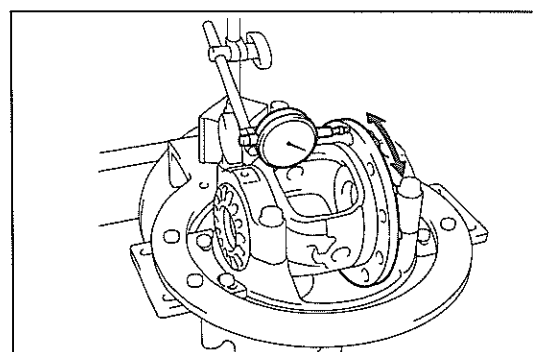
K6466

#### デフアレンシャル構成部品の点検

- 1 サイド ギヤおよびピニオン ギヤの摩耗点検
- 2 デフアレンシャル ケースの亀裂および損傷の有無点検
- 3 デフアレンシャル ケースの振れ点検

〈参考〉 リング ギヤ振れ点検で限度を超えた場合のみ行う。

- (1) デフアレンシャル ケースをデフアレンシャル キャリヤに組み付け、ベアリング キャップを組み付ける。(P4-17参照)
- (2) デフアレンシャル ケースの振れを点検する。  
限度 0.07mm
- (3) デフアレンシャル ケースを取りはずす。(P4-11参照)
- (4) サイド ベアリングを取りはずす。(P4-13参照)



K1880

## デイフアレンシヤル ケース組み付け

## 1 デイフアレンシヤル ケース組み付け

- 注意** ・スラスト ワツシヤ、サイド ギヤ、ピニオンなどの組み付け時には、ゴミおよび切り粉などの付着がないことを確認する。
- ・各摺動部、回転時にキヤツスル ハイポイド ギヤ オイル Sを十分に塗布する。

- (1) サイド ギヤにスラスト ワツシヤを組み付ける。
- (2) サイド ギヤ (ワツシヤ付き)、ピニオン ギヤ、ピニオンシャフトおよびピニオン スラスト ワツシヤを組み付ける。

- 注意** ピニオン シャフトの固定用穴とケースの穴を合わせる。

- (3) サイド ギヤのバックラツシユが基準値内になり、かつスムーズに回るよう左右両側とも同じサイズのスラスト ワツシヤを下表から選択し調整する。

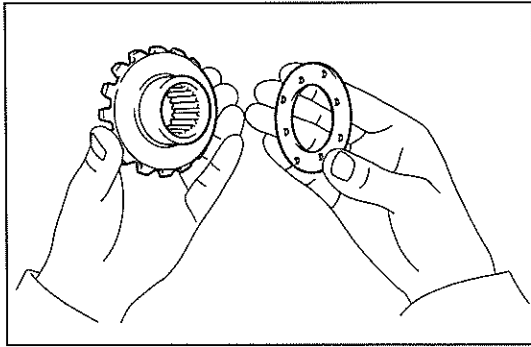
ピニオンをデイフアレンシヤル ケースの方へ固定し、バックラツシユを点検する。

基準値 0.05~0.20mm

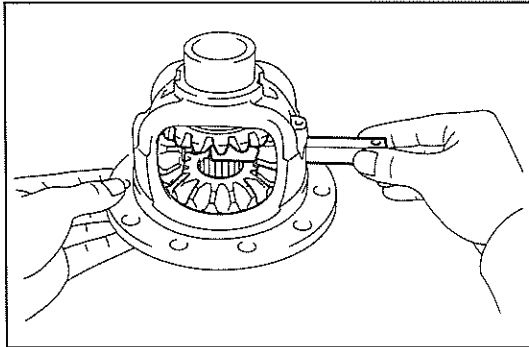
## 〈参考〉 スラスト ワツシヤ種類

品 番	厚 さ (mm)
41361-30040	0.96~1.04
41361-30050	1.06~1.14
41361-30060	1.16~1.24
41361-30070	1.26~1.34

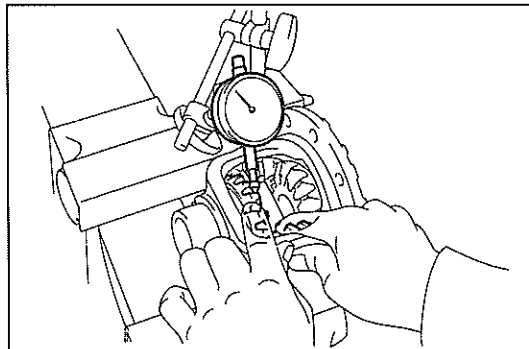
- (4) ピン ポンチを使用して、ストレート ピンをリング ギヤの歯面側から打ち込む。
- (5) タガネを使用して、デイフアレンシヤル ケースのピン穴外周をかしめる。



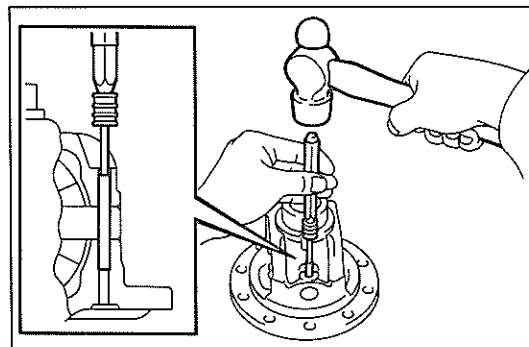
K1881



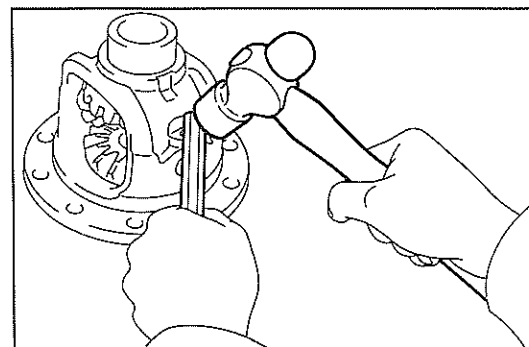
K6469



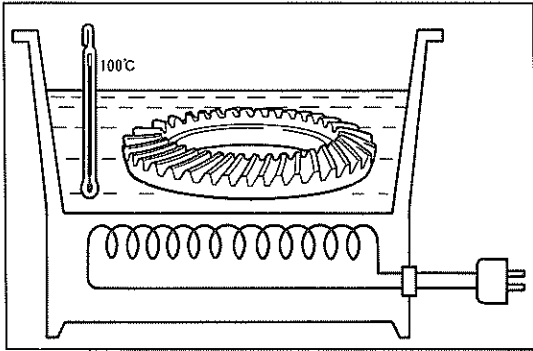
K1883



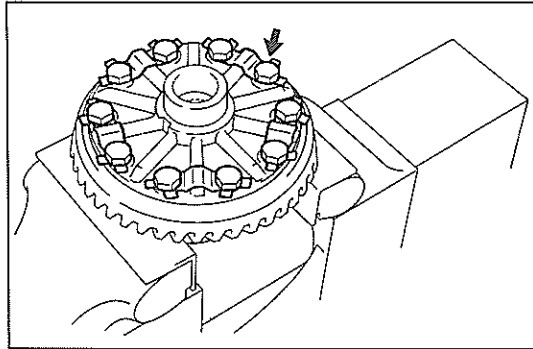
K1884



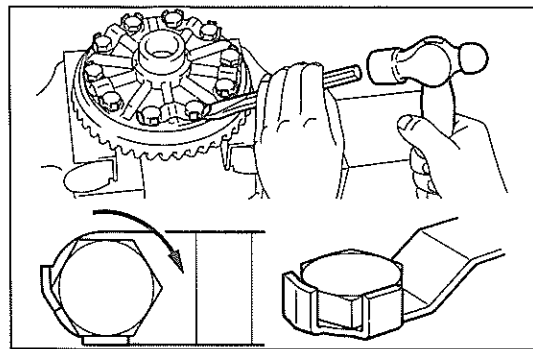
K1885



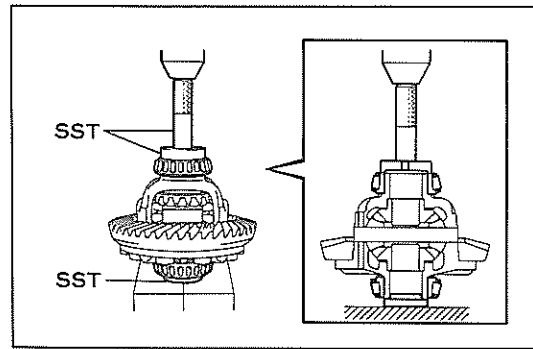
K1886



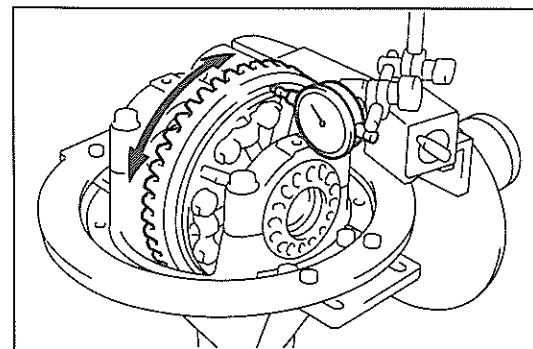
K1887



K1888



K1889



K1893

## 2 リング ギヤ組み付け

(1) リング ギヤをオイルなどで90~110℃に加熱する。

**注意** リング ギヤは110℃以上に加熱させない。

(2) ディファレンシャル ケースとリング ギヤの合わせ面の油脂を十分清掃する。

(3) ディファレンシャル ケースとリング ギヤの合わせマークを合わせて、リング ギヤを素早く組み付ける。

**注意** ディファレンシャル ケースのボルト穴とリング ギヤのねじ穴を合わせる。

(4) 新品のロック プレート 5 個を介して、セット ボルト10本を締め付ける。

T=985kg・cm

**注意** ・ボルトは、対角線に相対する順に行い、数回に分けて締め付ける。

・ボルトは、リング ギヤが十分に冷えてから規定トルクで締め付ける。

(5) タガネを使用して、ロック プレートのツメを起こし回り止めをする。

**注意** ボルトの2面幅に接触するツメは、2面幅部と密着するまで折り曲げること。またボルトの山部と接触してツメ幅が2分割になる場合は、ボルトの締め側を密着させる。

## 3 テーパー ドローラ ベアリング インナ (サイド ベアリング) 組み付け

(1) SSTとプレスを使用して、ディファレンシャル ケースにテーパー ドローラ ベアリング 2 個を圧入する。

S S T 09252-10010 09557-10010 09558-10010

## 4 リング ギヤ振れ点検

(1) ディファレンシャル ケースをキャリヤに取り付け、ベアリングにガタがない程度にアジャスティング ナットを締め付ける。

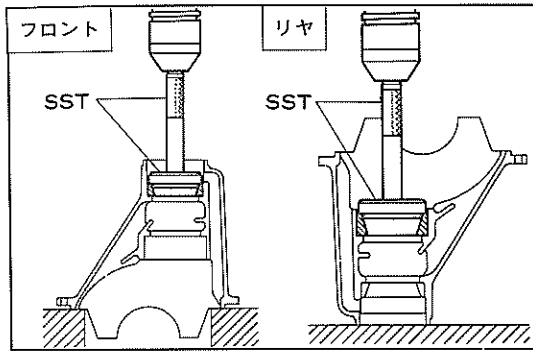
**注意** 左右のベアリング アウタ レースを間違えないように組み付ける。

(2) ベアリング キヤップを組み付ける。(P4-17参照)

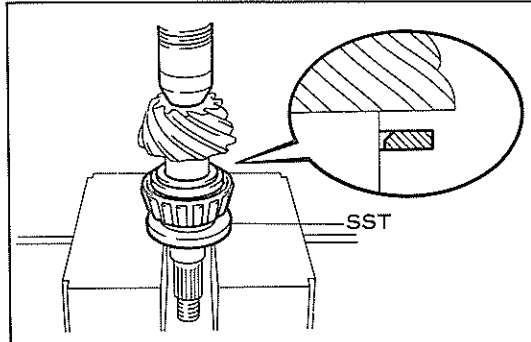
(3) リング ギヤの背面の振れをダイヤル ゲージで点検する。

限度 0.07mm

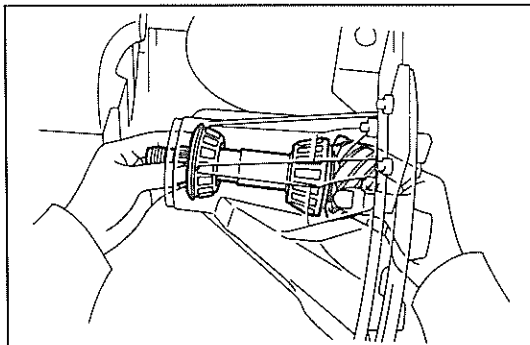
(4) ディファレンシャル ケースを取りはずす。(P4-11参照)



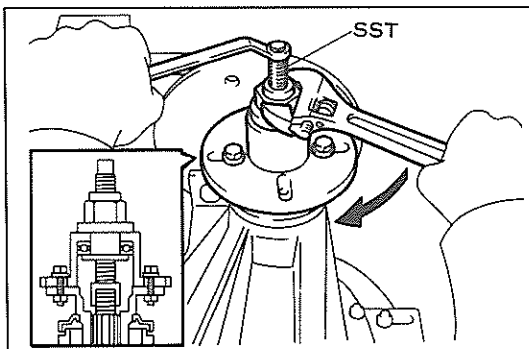
K1890 K1891



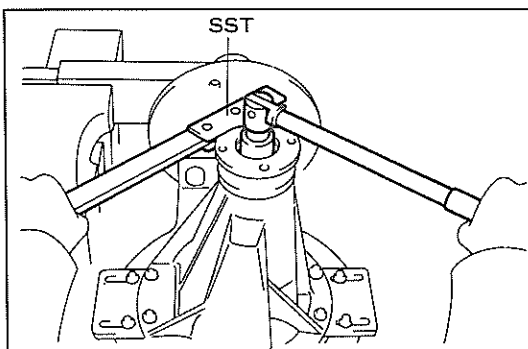
K1892



K6470



K6471



K6472

- 5 フロントおよびリヤ ベアリング アウタ レース組み付け  
(1) SSTとプレスを使用して、ベアリング アウタ レースを圧入する。

S S T	フロント	09608-04020	09608-04100
	リヤ	09608-04020	09608-04110

- 6 テーパード ローラ ベアリング インナ (リヤ用)

- (1) ドライブ ピニオンにプレート ワッシャを組み付ける。  
**注意** ワッシャは内径に面取りしてある方をギヤ側に向ける。  
 <参考> ワッシャは取りはずし前と同じ厚さのものを組み付けておく。

- (2) SSTとプレスを使用して、ドライブ ピニオンにテーパード ローラ ベアリング インナを圧入する。

S S T 09506-30012

- 7 ドライブ ピニオン プレロード仮調整

- (1) デイフアレンシヤル キヤリヤにドライブ ピニオン、テーパード ローラ ベアリング インナ (フロント用) およびドライブ ピニオン オイル スリングを組み付ける。

- 注意** リング ギヤの歯当たり点検のため、スペーサおよびオイル シールは組み付けず、歯当たり点検、調整後に組み付ける。

- (2) SSTを使用して、コンパニオン フランジを組み付ける。

S S T 09557-22022

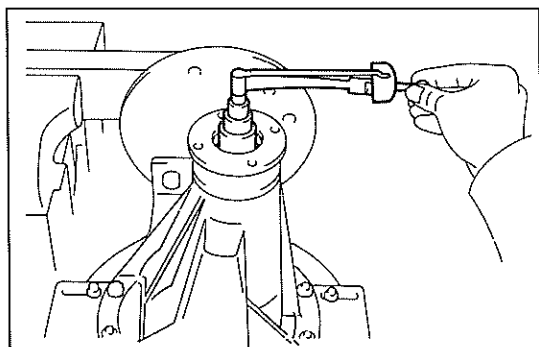
- 注意** スペーサを組み付けていないので、コンパニオン フランジはドライブ ピニオンのガタが少し残る程度まで締め付ける。

<参考> SSTのボルトはNo. 1を使用する。

- (3) SSTを使用して、プレート ワッシャを介して、新品のナットを規定のプレロードになるように少しずつ締め付ける。

S S T 09330-00021

- 注意**
- ナットとドライブ ピニオンのねじ部にキャツスル ハイポイド ギヤ オイル Sを塗布する。
  - スペーサが入っていないので、ナットは少しずつ締め付け、絶対に締めすぎない。



K6461

- (4) ドライブ ピニオンの起動トルクを測定する。

基準値 ベアリング新品 12~19kg・cm

ベアリング再使用品 6~10kg・cm

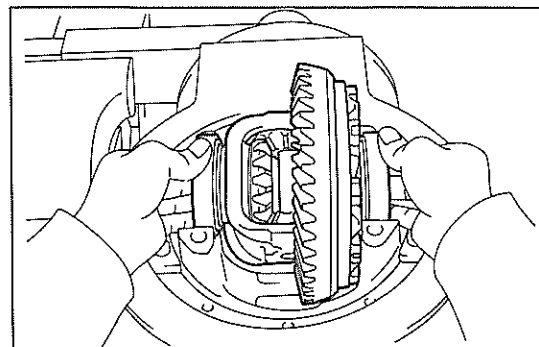
**注意** ・ベアリングをなじませるため、正転、逆転を数回行つた後に測定する。

・総合プレロード測定のため、プレロードを記録しておく。

## 8 デイフアレンシャル ケース組み付け

- (1) テーパー ドローラ ベアリング インナに左右のベアリング  
アウト レースを間違えないように組み付ける。

- (2) デイフアレンシャル ケースをキャリヤに組み付ける。



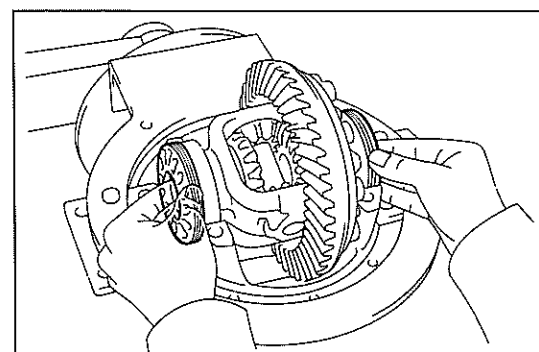
K1904

## 9 アジャステイング ナット組み付け

- (1) アジャステイング ナットとデイフアレンシャル キャリヤの  
ねじ山が合うように組み付ける。

- (2) リング ギヤとドライブ ピニオンのバックラッシュがほぼ基  
準値になるように組み付ける。

〈参考〉 バックラッシュ基準値 0.13~0.18mm



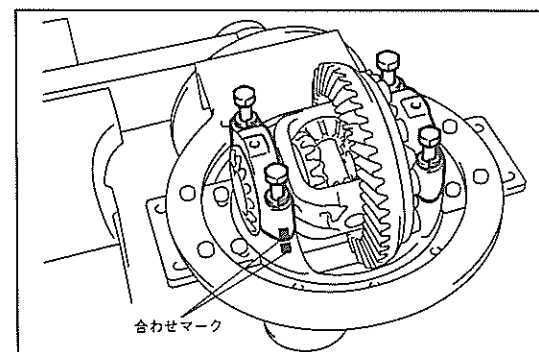
K1905

## 10 ベアリング キャップ仮付け

- (1) ベアリング キャップとデイフアレンシャル キャリヤの合  
わせマークを合わせて、ベアリング キャップを組み付ける。

- (2) ベアリング キャップ ボルト4本を2~3回締め込んで、手  
でベアリング キャップを押さえつけて仮付けする。

**注意** アジャステイング ナットとベアリング キャップのねじ  
山が合っていることを確認する。

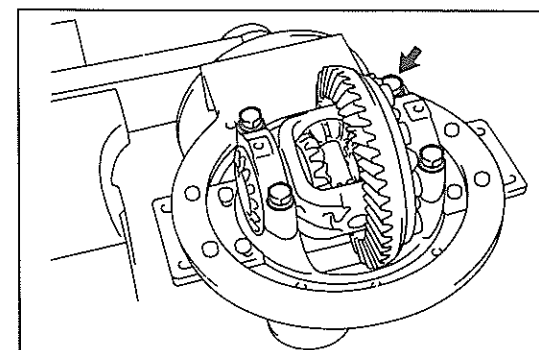


K1906

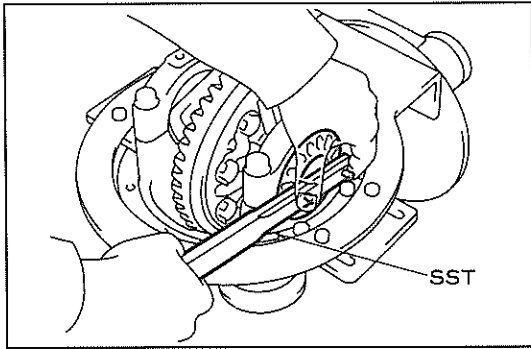
## 11 リング ギヤ バックラッシュ調整およびサイド ベアリン グ プレロード調整

- (1) ベアリング キャップ ボルト4本を一度規定トルクで締め付  
けた後、アジャステイング ナットがSST (09504-00011) で  
回る程度までゆるめる。

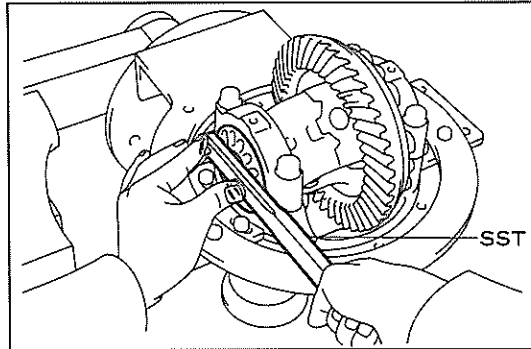
T=800kg・cm



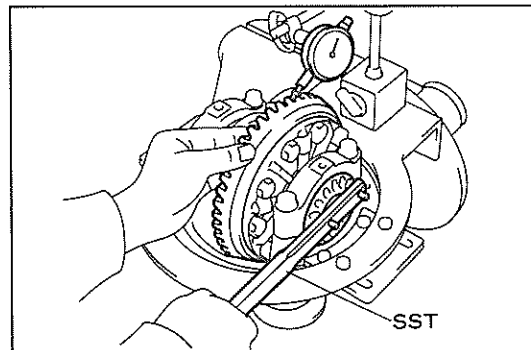
K1907



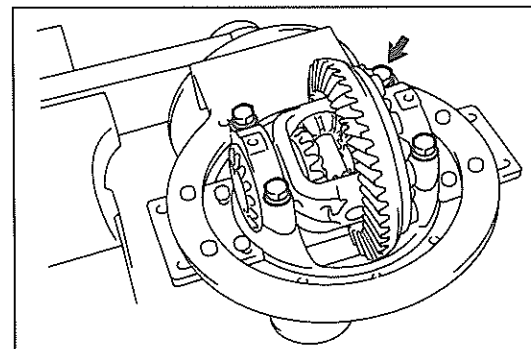
K1908



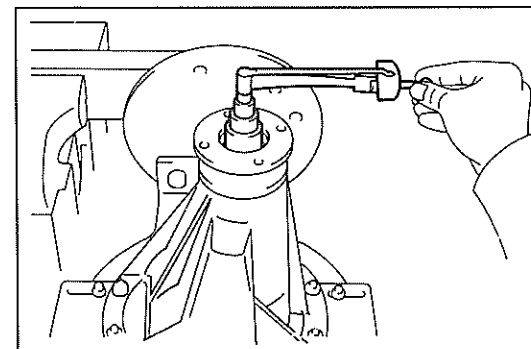
K1909



K1910



K1907



K6461

- (2) SSTを使用して、リング ギヤのバックラツシユが約0.18mm になるまでリング ギヤ背面側のアジャステイング ナットを締め付ける。

S S T 09504-00011

- (3) リング ギヤを回しながらSSTを使用して、リング ギヤ歯面側のアジャステイング ナットをいっぱい締め込みベアリングを落ち着かせた後、アジャステイング ナットをゆるめる。

S S T 09504-00011

- (4) SSTを使用して、リング ギヤ歯面側のアジャステイング ナットをリング ギヤ軸方向の遊び0 から1.5ノッチ締め込む。

S S T 09504-00011

**注意** 軸方向の遊び0 の位置とはアジャステイング ナットの締め付けが重くなつた位置である。

- (5) ドライブ ピニオンとリング ギヤのバックラツシユが基準値内になるように左右のアジャステイング ナットによりベアリングを移動させて調整する。(左を1ノッチゆるめたら右を1ノッチ締め込む。)

S S T 09504-00011

基準値 0.13~0.18mm

**注意** ・バックラツシユの測定はリング ギヤ円周上3箇所以上で行う。

・アジャステイング ナット ロツクの穴とアジャステイング ナットの穴が合う位置にする。

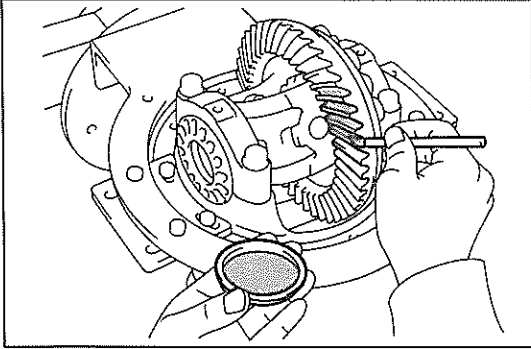
- (6) ベアリング キャップ ボルト4本を規定トルクで締め付ける。

$T=800\text{kg}\cdot\text{cm}$

- (7) トルク レンチを使用して、総合プレロードを測定する。ドライブ ピニオンとリング ギヤの歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値 総合プレロード=ドライブ ピニオン プレロード  
+ 4 ~ 6 kg·cm

基準値外の場合は、リング ギヤ歯面側のアジャステイング ナットにより調整する。

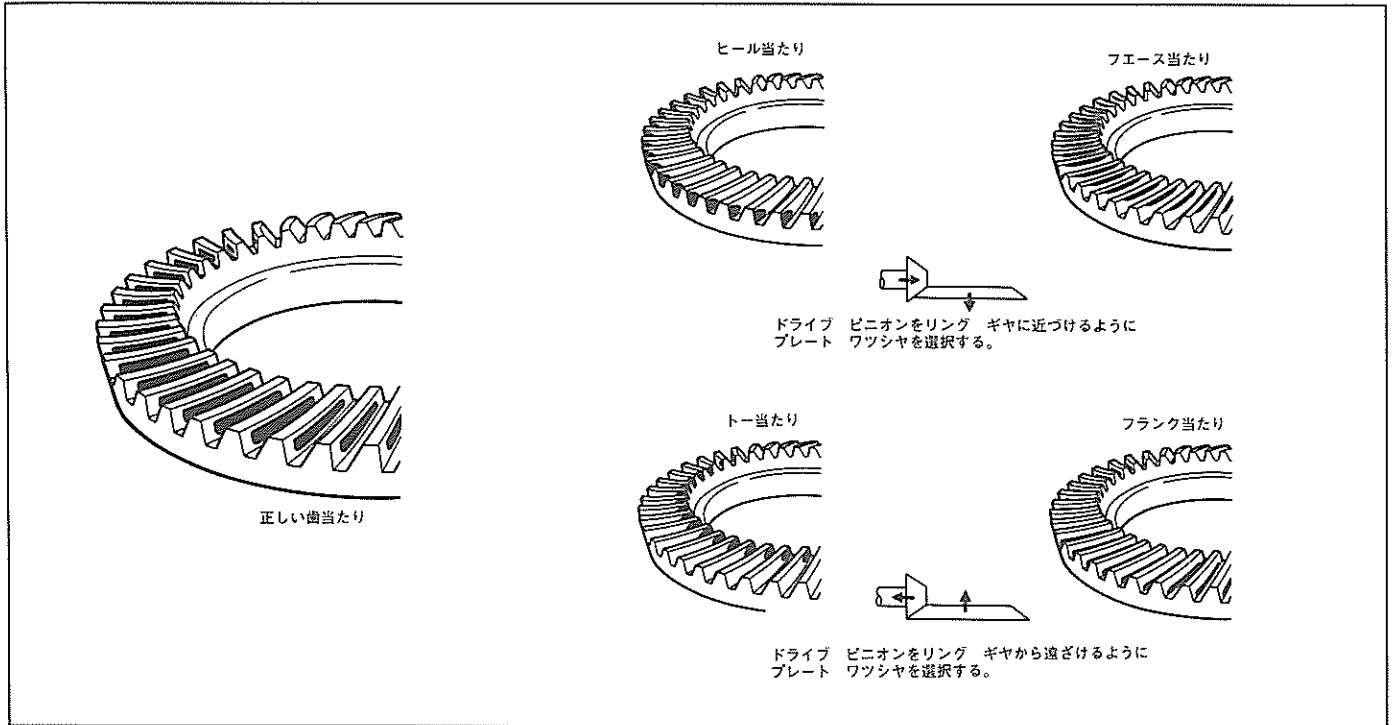


K1911

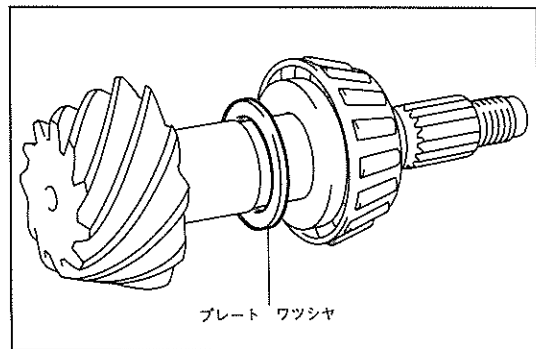
12 リング ギヤとドライブ ピニオンの歯当たり点検

- (1) リング ギヤの歯面両側に光明丹を均一に薄く塗布し、リングギヤを数回、回転させる。光明丹が示すパターンが歯当たり位置である。

**注意** リング ギヤ円周上4箇所で当たり状態をみる。



K3673



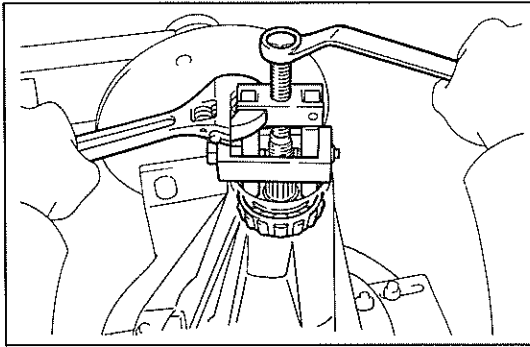
K1912

- (2) 歯当たりが不良の場合は、ドライブ ピニオン突き出し量調整用プレート ワッシャを表から選択し、再組み付けする。

**注意** フェース当たり、フランク当たりの場合はバックラツシュ基準値内で調整可能な場合もある。

〈参考〉 プレート ワッシャの種類

品番	厚さ (mm)	品番	厚さ (mm)
90201-35434	2.23~2.25	90201-35401	2.50~2.52
90201-35435	2.26~2.28	90201-35402	2.53~2.55
90201-35436	2.29~2.31	90201-35403	2.56~2.58
90201-35437	2.32~2.34	90201-35404	2.59~2.61
90201-35396	2.35~2.37	90201-35438	2.62~2.64
90201-35397	2.38~2.40	90201-35439	2.65~2.67
90201-35398	2.41~2.43	90201-35440	2.68~2.70
90201-35399	2.44~2.46	90201-35441	2.71~2.73
90201-35400	2.47~2.49		



K6466

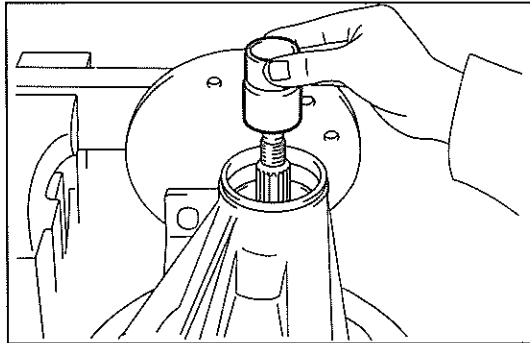
- 13 ナット、プレート ワッシャおよびコンパニオン フランジ  
取りはずし

(P4-10参照)

- 14 ドライブ ピニオン オイル スリンガ取りはずし  
15 テーパー ド ローラ ベアリング インナ (フロント用) 取  
りはずし

(1) SSTを使用して、テーパー ド ローラ ベアリング インナを  
取りはずす。

S S T 09556-22010



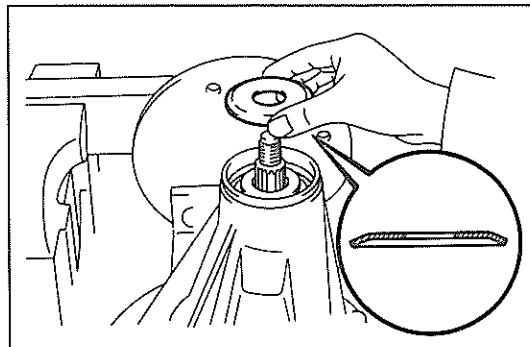
K6473

- 16 ドライブ ピニオン ベアリング スペーサ組み付け

(1) ドライブ ピニオンに新品のベアリング スペーサを組み付け  
る。

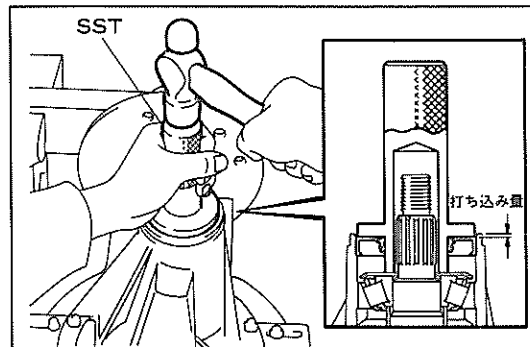
**注意** 内径の大きい方をリヤ側へ向ける。

- 17 テーパー ド ローラ ベアリング インナ (フロント用) 組  
み付け



K6474

- 18 ドライブ ピニオン オイル スリンガ組み付け



K6475

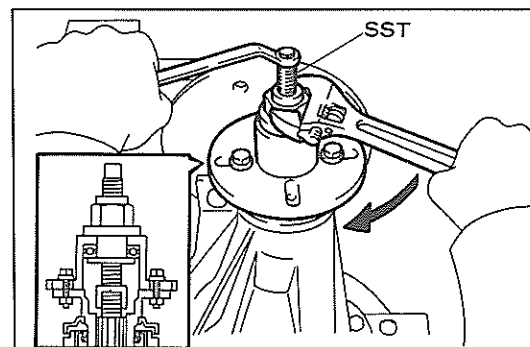
- 19 オイル シール組み付け

(1) SSTを使用して、新品のオイル シールを打ち込む。

S S T 09554-30011

基準値 オイル シール打ち込み量 (キャリヤ端面から)  
1.5mm

(2) オイル シールのリップ部にキャツスル MP グリース  
No.2 を塗布する。



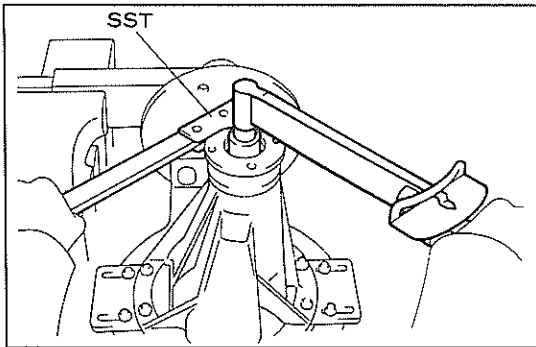
K6476

- 20 コンパニオン フランジ組み付け

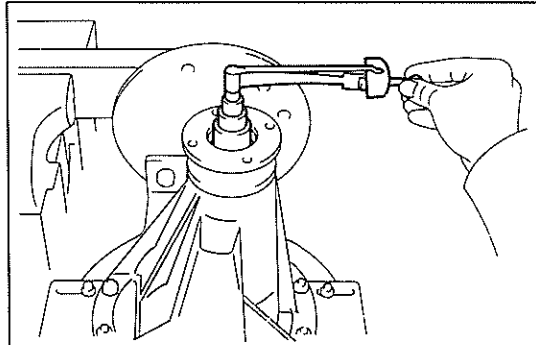
(1) SSTを使用して、コンパニオン フランジを組み付ける。

S S T 09557-22022

<参考> SSTのボルトはNo.1 を使用する。



K6477



K6461

- (2) プレート ワッシヤを組み付ける。
- (3) 新品のナットのねじ部にキヤツスル ハイポイド ギヤ オイル Sを塗布し、SSTを使用してフランジを固定し、規定トルクで締め付ける。

S S T 09330-00021

T=1100kg・cm

## 21 ドライブ ピニオン プレロード調整

- (1) トルク レンチを使用して、ドライブ ピニオンとリング ギヤのバックラツシュの範囲内で起動トルクを測定する。

基準値 ベアリング新品 12~19kg・cm

ベアリング再使用品 6~10kg・cm

**注意** ベアリングをなじませるためフランジの正転、逆転を数回行つた後に測定する。

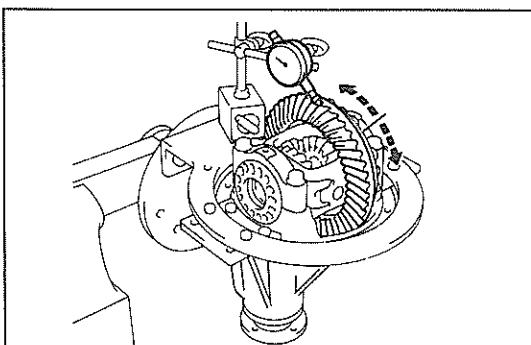
- (2) プレロードが過大の場合、ベアリング スペーサを交換する。
- (3) プレロードが不足の場合は、ナットを5~10°ずつ増し締めし、プレロードを測定し、基準値になるように繰り返し調整する。
- (4) ナットの締め付けトルクが2400kg・cmを超えてもプレロード不足の場合はナットを一度ゆるめて、ナットおよびドライブ ピニオンのねじ山がつぶれていないか点検する。

異常がないならば、スペーサを交換し、ねじ部にキヤツスルハイポイド ギヤ オイル Sを塗布した後、前記作業を繰り返す。

## 22 総合プレロード点検

- (1) トルク レンチを使用して、ドライブ ピニオンとリング ギヤ歯面を当てた状態で起動トルクを測定する。

基準値 総合プレロード=ドライブ ピニオン プレロード  
+ 4 ~ 6 kg・cm



K6478

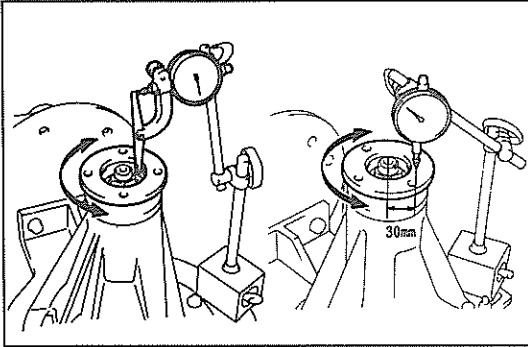
## 23 ドライブ ピニオンとリング ギヤのバックラツシュ点検

- (1) ダイヤル ゲージをリング ギヤの歯面先端に直角に当てドライブ ピニオンのフランジを固定し、リング ギヤを動かして測定する。

基準値 0.13~0.18mm

**注意** リング ギヤ円周上の3箇所以上で測定する。

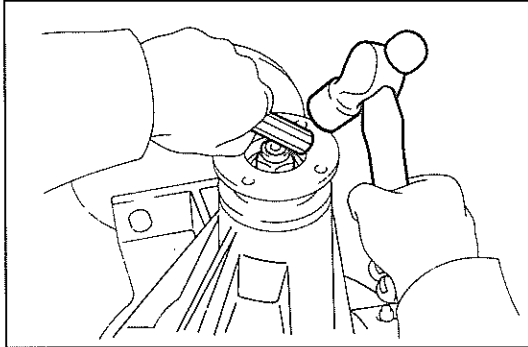
## 24 リング ギヤとドライブ ピニオンの歯当たり点検 (P4-19参照)



K6458 K6909

## 25 コンパニオン フランジの振れ点検

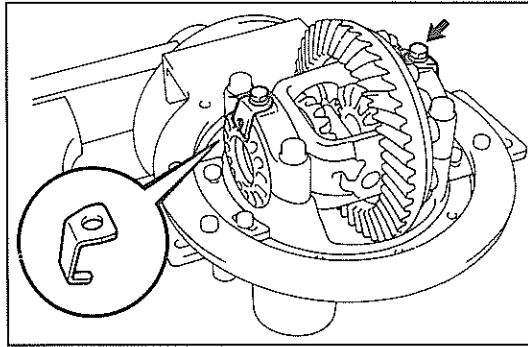
- (1) ダイヤル ゲージをコンパニオン フランジの内周面に直角に取り付け、コンパニオン フランジの縦振れを測定する。  
限度 0.10mm
- (2) ダイヤル ゲージをコンパニオン フランジの中心から外側へ30mmの位置へフランジ面と直角に取り付け、コンパニオン フランジの横振れを測定する。  
限度 0.10mm



K6479

## 26 ドライブ ピニオン ナツトかしめ

- (1) タガネを使用して、ナツトをかしめる。



K1920

## 27 アジャステイング ナツト ロック組み付け

- (1) 左右のベアリング キャップにアジャステイング ナツト ロックを取り付け、ボルトで締め付ける。  
 $T=130\text{kg}\cdot\text{cm}$   
〈参考〉 アジャステイング ナツト ロックは2種類あり、選択して使用する。
- (2) ボルト締め付け後、アジャステイング ナツトがゆるまない方向に密着していることを確認する。

## 28 デイフアレンシヤル キャリヤ ASSY取りはずし

- (1) デイフアレンシヤル キャリヤ ASSYをデイフアレンシヤル リペア スタンドから取りはずす。